はじめに…… 1

記号の使い方…… 3

1　基本動詞の使い方 …… 17

（1） have の用法　17

1）have + 目的語 + 過去分詞　17

2）have + 目的語 + 原形不定詞　17

3）助動詞としての用法　18

4）“have got” = “have”　18

5）“～ have to do with…” =「～は…と関係がある」　18

（2） get の用法　19

（3） make の用法　19

（4） take の用法　21

（5） find の用法　22

（6） tell の用法　23

（7） see の用法　23

（8） ask の用法　24

（9） marry（結婚する）の用法　24

（10） follow の用法　25

（11） want の用法　26

（12）「疑う」の英訳について　26

（13）「動詞 + 前置詞」の重要表現　26

1）“wear on” =「時がゆっくり経過する」　26

2）“drop in at 場所”, “drop in on 人”　27

（14）「他動詞 + 目的語 + 前置詞」の重要表現　27

1）“regard ～ as …” =「～を…とみなす」　27

2）“remind + 人 + of ～”=「人に～を思い出させる」　27

3）“provide + 人 + with 物”=「人に物を供給する」　27

（15）その他の基本動詞の用法　28

1）“look up”=「調べる」　28

2）“be held”=「（会議が）開催される」　28

3）“learn to～不定詞”=「～できるようになる」　28

4）“believe ～”と“believe in ～”について　28

5）“wonder ～”=「～かしらと思う」　29

6）become の用法　29

2　助動詞，現在進行形，現在完了形，受動態，命令文 …… 30

（1）助動詞の用法　30

1）can, may の用法　30

2）would は現在の意味でよく使われている　31

3）could や might の用法　32

4）現在の習慣を表す will　33

5）過去の習慣を表す“would”と“used to”　33

6）“cannot ～ too…”　33

7）“cannot help ～ ing”=cannnot help but + 動詞の原形=「～することを禁じえない」　34

8）“may well”　34

9）“may as well”，“might as well”　34

10）“You（二人称）shall”，“He（三人称）shall”の用法　35

（2）現在進行形の用法　35

1）臨場感や感情を表出する　35

2）近未来の予定　36

（3）現在完了形の用法　36

1）“have gone to ～”と“have been to ～”のちがい　36

2）「～して以来，どのくらい時間がたつ」の表現　36

（4） 受動態で使われる表現　37

（5） 命令文　38

1）“～命令文，and …”=「～せよ，そうすれば…」　38

2）“～命令文，or …”=「～せよ，さもないと…」　38

3　名詞・代名詞，冠詞，形容詞・副詞 …… 39

（1） it の用法　39

1）天候の it　39

2）事情の it　39

3）時間の it　39

4）明暗の状況の it　39

（2） few, a few（数）および little, a little（量）の用法　40

（3） some と other（s）の訳し方　41

1）“some ～, others … ”　41

2）“some ～, the others … ”　41

3）“one ～ , the other … ”　42

（4） another の用法　42

（5） “～ one thing, … another（thing）”の公式　42

（6）「お互いに」の英語表現　43

（7） some が疑問文で用いられる場合　43

（8） 再帰代名詞 oneself のいろいろな用法　43

1）“抽象名詞＋itself”=「all＋抽象名詞」　43

2）前置詞＋oneself の用法　44

（9） all を使ったいろいろな慣用表現　45

1）“all”=「いっさいのこと，～だけ」　45

2）at all の使い方　46

3）all but の用法　47

(10)　first を含む慣用表現　48

1）“firstly”=「まず，最初に」　48

2）“first of all”=「まず第 1 に」　48

3）“at first”=「最初のうちは（「最初のうちだけ」という意味）」　48

4）“for the first time”=「はじめて」　49

(11)　不定冠詞 a［an］の用法　49

(12)　定冠詞 the の用法　50

1）school と the school の意味のちがい　50

2）“the＋単数名詞”=「～というもの」　50

3）“the＋複数名詞”=「すべての～」　51

4）“the＋単数名詞”=「～なるもの」　51

5）“the＋形容詞”=「～なるもの」　51

6）“the＋形容詞”=「～の人々」　51

7）楽器の the　51

8）「前置詞＋the＋身体部位（単数形）」の表現　52

9）「of ＋抽象名詞＝形容詞」の公式　52

(13)　「後ろからかかる」形容詞　52

(14)　anything, nothing の慣用表現　52

1）“anything but ～”=「けっして～でない」　52

2）“nothing but ～”=「単なる～だ」　53

3）“nothing of ～”の表現　53

(15)　“～ able”の訳し方　53

(16)　“like so many＋複数名詞～”=「さながら（同数の）～のように」　54

(17)　部分否定の表現　54

(18)　頻度，確率を表す副詞の用法　55

1）頻度を表す副詞　55

2）sometimes や no の適切な日本語訳　55

3）確率を表す副詞　56

(19)　“So am I.”と“So I am.”の意味のちがい　58

4　比較の表現 …… 60

（1）「the＋～比較級，the＋…比較級＝～すればするほどそれだけ…」の表現　60

（2）最上級を表すいろいろな表現　61

（3）「～でさえ（even）」という意味を表す最上級　62

（4）“no more”や“no less”を含む表現　63

1）“no more ～ than …”の公式　63

2）“no more than”，“no less than”の用法　63

（5）better，best を使った表現　64

1）had better ＋動詞の原形，had best ＋動詞の原形　64

2）“know better”＝「もっと分別がある」　64

3）“be better off”＝「以前より暮らし向きがよい」　64

（6）“～最上級 that ever lived”＝「今までの中で最も～」　64

（7）比較級や最上級を修飾する副詞表現　65

（8）倍数表現（…の x 倍）　65

（9）“～ er and ～ er（比較級の重複）”＝「ますます～」　66

(10)　most と best のニュアンスのちがい　66

(11)　“much less［still less］…，let alone …”＝「まして…ない」　66

(12)　比較級，最上級を使った慣用表現　67

(13)　ラテン語由来の比較表現（senior, junior, superior, inferior, prior など）　67

5　分詞，動名詞，不定詞 …… 69

（1）　分詞　69

1）分詞構文の意味　69

2）“with 名詞＋～”＝「～した状態で，～しながら」　70

（2）　動名詞　71

1）動名詞を使った慣用表現　73

2）「前置詞＋動名詞」の重要表現　73

3）“never ～ without…”の公式　74

4）動詞＋目的語＋動名詞の重要表現　74

5）“There is no ～ ing”＝「～することができない」　75

6）“It is no use ～ ing”＝「～してもむだである」　76

（3）　to 不定詞の用法　76

1）「目的」「結果」「運命」を表す副詞的用法　76

2）むなしい運命を表現する“only to 不定詞”，“never to 不定詞”　77

3）「理由，原因」の副詞的用法　78

4）仮定法の条件節としての用法　78

5）不定詞の意味上の主語　78

6）原形不定詞　79

7）be to 不定詞　79

8）“be about to 不定詞～”＝「まさに～しようとしている」　80

9）the last … to 不定詞～　80

10）“enough ＋ to 不定詞～”＝「～するに足りるだけ十分」　81

11）“too ～ to …の公式”＝「あまり～なので…できない」　81

12）“have the＋抽象名詞～＋to 不定詞…”　82

13）独立不定詞的に用いられる慣用表現　83

6　関係代名詞 …… 84
（1）「前置詞＋関係代名詞」の基本例文　84
（2）“～，（カンマ）＋関係代名詞 …”の訳し方　84
（3）関係代名詞 what の用法　85
（4）what を用いる重要慣用表現　85
（5）「X：Y＝P：Q」の英訳　86
（6）関係代名詞の一種とされる as, than の用法　86
1）as の用法　86
2）“such as ～”の用法　87
3）“such that ～（文）”＝「～のようなもの」　88
4）than の用法　88
（7）“関係代名詞 but”＝「that … not」　88
（8）関係副詞 how, why の用法　88
1）“関係副詞 how”＝「いかに～するか，～のやり方」　88
2）“why”＝「the reason（なぜ，理由）」　90

7　接続詞 …… 91
（1）接続詞“before”と時制の関係　91
（2）“not ～ until …”の公式　92
（3）“…, until［till］～”＝「（…して，）ついに～」　93
（4）“as far as”，“as long as”　93
（5）「しかし」という意味を表す接続詞　94
（6）理由を示す接続詞　94
（7）“not … because ～”の表現　94
（8）“so ～ that … 構文”＝「so ～ as to 不定詞 …」　95
（9）“once ～ ,”＝「一度～すれば，」　96
（10）“every time ～”＝「～する度に」　96

(11)　“now that ～”=「今や～なので（～だから）」　96
(12)　while ～（文章）の用法　96
(13)　“whenever ～”など　97
(14)　“by ～”と“until ～”のちがい　98
(15)　“whether … or not”=「…であろうがなかろうが」　98
(16)　“形容詞など＋as 主語＋動詞”=「～だけれども」　98
(17)　“as 文章”=「～につれて」という意味がある　99
(18)　“in case 文章”の用法　99
(19)　“A as well as B”=「B と同様に A も」　99
(20)　“as well”=「～もまた同様」　99
(21)　“not so much A as B”=「A よりもむしろ B」　100
(22)　“not so much as ～”=「～さえしない」　100
(23)　コロン，セミコロン，ダッシュ，カンマの用法についてのメモ　100
1）コロン（：）　100
2）セミコロン（；）　100
3）ダッシュ（—）　100
4）カンマ（，）　101

8　仮定法 …… 102
（1）　仮定法過去　102
1）典型的表現　102
2）“I wish 過去形”　102
（2）　仮定法の条件節の例　103
1）主語自体が条件節になる　103
2）with＋名詞節　103
3）不定詞　103
（3）　一種の仮定法と考えられる慣用句　103

（4）「万一」の should，現実にはありえない仮定に使われる“were to” *104*

（5） 仮定法過去完了 *104*

1）If 主語＋had＋過去分詞～，主語＋would など助動詞の過去形＋have ＋過去分詞… *104*

2）If 主語＋had＋過去分詞～，主語＋would など助動詞の過去形＋動詞の原形… *104*

（6）“without ～”が仮定法の条件節として用いられる場合の他の言い換え例 *105*

（7） 覚えておきたい重要表現 *106*

1）“as it were”＝「いわば」 *106*

2）“as if ～”＝「あたかも～のように」 *106*

3）“if ever［if any］”＝「たとえあるにしても」という表現 *106*

4）“otherwise”＝「さもなければ，そうでなければ」 *106*

9 前置詞の用法 …… *108*

（1）「奪取の of」という有名な用法 *108*

（2） 場所を表す前置詞 in の注意すべき用法 *108*

（3） for の用法 *109*

（4） 乗物・手段を表す“by”は無冠詞である *109*

（5） 単位を表す by *110*

（6） 時間の経過を表す前置詞 in, after の用法のちがい *110*

（7） 材料の of（姿を変えない），原料の from（姿を変えた） *110*

（8）“be tired of ～”と“be tired from ～” *111*

（9）“to ～（人の所有格）＋…（感情の名詞）”の表現 *111*

（10）“up to ～”の用法 *111*

（11） above, beyond の用法 *112*

（12）“what＋前置詞 with”の繰り返し表現 *112*

10　無生物主語の構文 …… 113

付録　中学生の英語の勉強法の一例 …… 115

（1）　中学で先取り学習が必要　115

（2）　英語を理論的に勉強することの大切さ　115

（3）　中学３年間の英語の勉強スケジュール　116

1）中学１・２年　116

2）中学３年のときにやる高校入試準備―英文解釈の実践　119

3）自分自身の単語集ノートの作り方　119

参考文献 …… 120